



The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

30-1, Senju-azuma 1-chome, Adachi-ku, Tokyo 120-8534

Tel: 81-3-3888-8256 Fax: 81-3-3888-8242 E-mail: shouhei-au@aots.jp URL: <https://www.aots.jp/>

技術協力活用型・
新興国市場開拓事業

(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

2024年9月

募集要項

南アジア新規事業創出研修コース

The Program on New Business Creation for South Asia

[SABC]

2025年2月12日～2月26日

1. コース開設の背景：

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修及び専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

AOTS は 1959 年（昭和 34 年）8 月に日本で最初の民間による技術協力機関として通商産業省（現・経済産業省）の認可を受け設立され、これまでに日本で実施した研修には、2021 年度（令和 3 年度）までに世界 198 の国と地域から延べ 200,000 人余りが参加したほか、海外で実施した研修にも延べ 230,000 人余りが参加しています。AOTS は帰国後の参加者や開発途上諸国の産業界からの要望に基づき、様々な研修コースの企画、開発に努めています。

本コースは、南アジアで新規事業開発に携わる者を対象に、起業家精神について理解を深め、事業創造の可能性を検討し、新事業を設計できるようになることを目的として実施します。

新規事業創出のプロセスと方法論について理解を深めた上で、参加者自身が学んだフレームワークに基づいて、教室外での人々の行動観察などの演習を通じて、共感・真のニーズの洗い出し、ビジネスアイデアの具現化に挑戦します。また新規事業を創出している経営者講話を通し、新規事業創出についての視野を広げます。最後に、自らの経験を振り返り、自身の人生観・仕事観を明確化し、新規事業を創出することへの覚悟の醸成を促します。

2. 対象国：

インド、スリランカ、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、ブータン、モルディブ、イラン

3. 参加者の人数：

23 名

4. 参加資格：

以下の資格を有することが必要です。

- (1) 原則として、企業・組織の経営者、経営幹部および上中級管理者等の新規事業開発を行う意思のある方
- (2) 年齢が 20 歳以上の方
- (3) 大学卒またはこれに準ずる職歴を有する方
- (4) 英語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
- (5) 心身健康な方
- (6) 上記 2. 対象国に居住の方
- (7) 学生でない方、軍に籍をおいていない方
- (8) 過去に AOTS が実施する国庫補助事業の研修制度で来日した方は、帰国後半年（183 日）以内に開始されるコースに応募することはできません。

注意：

- (1) コース参加者は、研修コースの全てのカリキュラムに参加する必要があります。
- (2) 日本へ家族や同僚を同伴することはできません。
- (3) 参加者は AOTS に対してプログラムの追加を要望したり、自身でプログラムを計画したりすることはできません。このコースの終了後速やかに帰国しなくてはなりません。ただし、日本の受入企業がこのコースの終了後、実地研修を計画し、AOTS の承認を受けた場合はこの限りではありません。

優先的選考：

- (1) 勤務先が日系企業、日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業の方が望ましい。（日系企業や日系企業の取引先企業、今後日系企業との取引を予定あるいは希望している企業からお申込みいただいた場合、選考時の優先順位が高くなります。）

- (2) 日本企業と取引関係のない非日系企業からの応募の場合、選考の優先順位は低くなります。
- (3) 日本以外の先進国資本が入った企業からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (4) 本研修は、主に民間企業・団体に勤務する方を対象としているため、中央・地方政府機関からお申込みいただいた場合は、選考時の優先順位が低くなります。
- (5) 定員を超える応募があった場合は、同一国内受入企業又は同一海外派遣企業からの参加者数を制限することがあります。

5. 研修コース概要：

■ 目的

本コースは、南アジアで新規事業開発に携わる者を対象に、起業家精神について理解を深め、事業創造の可能性を検討し、新事業を設計できるようになることを目的として実施します。

■ 内容

【プレ・ステップ】 申込書による事前学習

「事前研修レポート」に記載されている質問に回答します。これらの内容は講義セッションに反映されるとともに、研修中のディスカッションやグループワークショップで活用されることになっています。

【ステップ 1】

新規事業創出のプロセスと方法論について学びます。起業・新規事業創出のプロセスを学び、人々がどのような行動をとるかを観察し、顧客への共感、真のニーズの洗い出し、ビジネスアイデアの具現化に挑戦します。また、企業訪問を通して起業家のマインドセットやあり方について学びます。

【ステップ 2】

遠隔地企業見学では、東日本大震災から復興する過程で、逆境下で新規事業創出を目指した経営者の話を聞き、実際の新規事業創造の事例を見ることにより、第一段階で学んだ新規事業を創出するプロセスと、個人の思いや覚悟などのマインドセットの両面について視野を広げます。

【ステップ 3】

これまでの研修を踏まえて、新規事業創出を担う者として自身の価値観、仕事観、人生観を明確化します。帰国後に実行したい新規事業について、これまで内省してきたことと学んできたプロセスに基づいて計画をまとめます。また、それと並行してグループ毎に「日本にあるものを母国へ」または「母国のものを日本へ」を軸とした事業案を最終日に発表します。

コースは通常午前3時間、午後3時間の講義からなります。日程表（予定）をご覧ください。

■ 期間

2025年2月12日（水）～2月26日（水）（研修実施日11日）

■ 使用言語

講義、ディスカッション、演習、企業見学はすべて英語または英語通訳付きで実施されます。コースで使用する資料と教材はすべて英語で作成されます。

■ コースディレクター

宮川 新平 氏（経営学博士）
 テンプル大学ジャパン
 国際ビジネス学科 准教授

2010年から日本の大手メーカーを中心に幹部教育に従事し、日本企業のグローバル化プロジェクト・新規事業のアドバイザー等を経て、2020年9月からテンプル大学ジャパン国際経営学部で教鞭を取る。

研究対象は日本の伝統産業の進化及び日本の地方創生。地域活性化プロジェクトに関わり、半農半 X の実践中。

■ 研修場所と宿泊施設

AOTS 東京研修センター(TKC) <https://www.aots.jp/about/centers/tokyo-kenshu-center/>

〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1

電話：03-3888-8230（受付） ファックス：03-3882-3817

南アジア新規事業創出研修コース [SABC] 日程 (案)

2025年2月12日～2月26日

AOTS 東京研修センター (予定)

日付	午 前 (9:30-12:30)		午 後 (13:30-16:30)
2月11日 (火)	(来日)		
12日 (水)	オリエンテーション/ 開講式		講義/討論：起業・新規事業の全体像
13日 (木)	講義・演習・見学：起業・新規事業の起点 (顧客行動観察①)		
14日 (金)	講義・演習・見学：起業・新規事業の起点 (顧客行動観察②)		
15日 (土)	休み		
16日 (日)	休み		
17日 (月)	講義・演習：起業・新規事業の起点 (アイディエーション)		
18日 (火)	企業等見 学 (遠隔地)	移動	見学：日本企業における新規事業創出の取り組み事例
19日 (水)		見学：日本企業における新規事業創出の取り組み事例	討論：日本の起業家との対話
20日 (木)		見学：日本企業における新規事業創出の取り組み事例	移動
21日 (金)	講義・演習：起業・新規事業の起点 (プロトタイプ)		
22日 (土)	休み		
23日 (日)	休み		
24日 (月)	講義・演習：ビジネスモデル		
25日 (火)	最終グループ発表準備		最終グループ発表会
26日 (水)	最終個人発表会		研修を振り返り総合質疑応答 修了式
27日 (木)	(帰国)		

注意：

- (1) 上記のスケジュールは、講師や協力企業の都合、その他のやむをえない事情のために変更されることがあります。
- (2) 夕食後グループ討論を行うことがあります。
- (3) 土曜、日曜は原則として休日ですが、必要に応じて講義の予定が組まれることがあります。

6. 応募方法：

日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む場合と、海外の現地法人が直接 AOTS に申し込む場合では、応募方法、提出書類等が異なりますので、ご注意ください。

- (1) 管理研修参加後に現地研修を希望する場合、受入企業となる日本国内の法人（親会社等）を通じて申し込む必要があります。
- (2) 日本国内の法人を通じて申し込む場合、渡航費は対象となりません。但しアフリカからの参加者を受入れる場合のみ渡航費を対象とします。

（日本国内の法人を通じてのお申込みの場合）

- (1) 仮申込み：お電話、または E-mail にて検討されている研修の概要（研修対象者の属性、現地研修の有無等）をご連絡ください。そのうえで、以下の応募書類を **2024年11月19日（火）** までに、AOTS 研修・派遣業務グループ（12. お問い合わせご参照）までご提出ください。

1. 研修申込書（概要） 2. 研修生個人記録並びに研修契約に関する申告書 3. 事前研修レポート

- (2) 本申込み：仮申込み受理の連絡を受けた後、本申込みに必要な書類の準備、段取りなどについて、ご案内いたします。

※ご不明点等ありましたら研修・派遣業務グループまでお問い合わせください。（12. お問い合わせご参照）

※上記 AOTS 所定様式は当協会ホームページからダウンロードできます。

【日本語】 <https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/download/#kanri-shinkokoku>

（海外の現地法人から AOTS に直接お申込みの場合）

AOTS 海外協力機関を通して、以下の応募書類一式を PDF・エクセル両方の形式で、**2024年11月19日（火）** までに AOTS 海外統括部に到着するように提出してください。

応募書類の提出期限は、各機関によって異なりますので、AOTS 海外統括部（12. お問い合わせご参照）にお問合せください。

お申込者には AOTS 海外協力機関による面接をさせていただきます。

- (1) 研修申込書、研修生個人記録申告書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください）
※PDF・エクセル両方のソフトコピーを提出

- (2) 日本企業との取引および日本市場への参入に関する調査票 ※エクセル

- (3) 問診書（AOTS 所定様式：手書きの記入は避けてください） ※PDF

- (4) 研修生個人情報取り扱いについて（AOTS 所定様式） ※PDF

- (5) 海外旅行保険承諾書（AOTS 所定様式） ※PDF

- (6) 研修契約に関する申告書（日系派遣企業用） ※PDF

- (7) 勤務先概要を紹介する資料 ※PDF

- (8) 顔写真データ（データタイトルに氏名を入力してください） ※JPEG または PDF

- (9) パスポートコピー ※PDF

※パスポートをお持ちでない場合は、自動車免許証コピーや ID カードコピー等（公的機関により発行されたもので、写真があり、ローマ字で氏名、生年月日が記載されているもの）を提出してください。

- (10) 事前研修レポート ※WORD

注意：

※他にも必要に応じて書類を求めることがあります。

※上記 AOTS 所定様式については AOTS 海外統括部（12. お問い合わせご参照）にお問合せください。

提出された応募書類は、**2024年12月19日（木）** の審査委員会で審査されます。審査結果は審査委員会終了後、AOTS より連絡いたします。

注：応募者が締切日時点で **23** 名に満たない場合、本コースを中止または延期する場合があります。

7. 到着日及び出発日について：

参加者は、原則として研修開始日の前日に日本に到着し、研修終了日の翌日に日本を出発することとします。

8. 経費：

<日本国内の法人からお申し込みの場合>

以下の試算例をご参照ください。

いずれの試算例も、コース開始前日 2/11 来日・終了日翌日 2/27 帰国 15 日コース
成田空港・東京研修センター間移動の場合です。

【試算例 1】中堅・中小企業の場合 補助率 2/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	196,160	[2/3] 130,773	[1/3] 65,387
2. 研修実施費	531,000	337,000	194,000
合計	727,160	467,773	259,387

【試算例 2】大企業（一般分野）の場合 補助率 1/3

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	196,160	[1/3] 65,386	[2/3] 130,774
2. 研修実施費	531,000	277,000	254,000
合計	727,160	342,386	384,774

【試算例 3】大企業（重点分野）の場合 補助率 1/2

(日本円)

研修費用	総額	補助額	分担金
1. 受入費	196,160	[1/2] 98,080	[1/2] 98,080
2. 研修実施費	531,000	308,000	223,000
合計	727,160	406,080	321,080

※受入費は下記受入費基準額一覧をもとに計算しております。そのほか、国内移動費（成田空港・東京研修センター間）および厚生費（管理研修期間中の海外旅行保険代等）が含まれます。

※渡航費は補助対象外となります。（中堅・中小企業のアフリカ受入の場合を除く。）

※研修コース参加後に実地研修をご希望の場合、経費については、AOTS企業連携部 研修・派遣業務グループ（12. お問い合わせご参照）にお問い合わせ願います。

※中堅企業とは資本金 10 億円未満の企業、中小企業とは中小企業基本法に規定する中小企業、一般企業とは中堅企業、中小企業以外の企業をいいます。但し、資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される事業者は中堅・中小企業としません。

※重点分野とは大企業のみが対象で、通常 1/3 の国庫補助率を 1/2 に引き上げられる案件で以下のいずれかに該当するものをいいます。

(1) 実地研修が、開発途上国・地域の産業発展に大きく寄与する技術協力と認められるもの(新法人や新工場の立ち上げや先進的な新製品・新サービスの立ち上げの対応等(サプライチェーンの多元化・強靱化

- に大きく寄与する案件を含む)
 (2) 海外進出先の対象国・地域がアフリカであるもの

◎受入費基準額一覧

AOTS 研修センター 宿舎費・食費	来日日のみ	9,020 円／泊
	来日日以外	9,900 円／泊
研修旅行時	宿舎費	14,500 円／泊
	食費	2,750 円／泊
雑費		1,040 円／泊

※管理研修終了後、実地研修を実施することができます。
 その場合、以下の実地研修費が補助対象となります。

実地研修費	AOTS 基準	備考
実地研修に必要な経費に充当 <small>(実地研修期間中における研修用資材、研修生の交通費、受入企業の指導員の人件費などの諸経費に充当するもの)</small>	大企業 3,360 円／日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日額単価・暦日 ・ 研修生への支払い方法は現物提供
	中堅・中小企業 5,190 円／日	

< 海外の法人からお申し込みの場合 >

英語版募集要項(The Program Outline)をご参照下さい。下記 URL より該当コースの募集要項をダウンロードください。

<https://www.aots.jp/hrd/technology-transfer/management/course/>

9. 査証 (V I S A) の取得について :

(1) 在留資格

日本で研修するために必要な在留資格は「研修」です。

(2) 査証の取得

参加者は、AOTS が発行する「GUARANTEE LETTER」等必要な申請書類をもって自身で在外日本国大使館/総領事館 (以下「在外公館」とする) にて「研修」査証の申請、取得をしてください。ただし、申請書類が本省照会となり時間がかかる場合があるため時間に余裕をもって申請することを強くお勧めします。

(3) 注意事項

既に「短期滞在査証」、「短期数次査証」、「A P E C ・ ビジネス ・ トラベルカード (A B T C)」等、「研修」以外の査証を取得している方、または査証免除国・地域からの参加者は、既存の査証が日本での研修コース参加という滞在資格に合致していることを事前に、必ず最寄りの在外公館にて事前確認してください。

10. 海外旅行保険の付保について

AOTS は、参加者に対し日本に到着した時から、日本を出発するまでの期間を補償対象とした海外旅行保険を付保します。付保内容は傷病により医療機関で診療を受ける際の医療費と賠償責任・救援者費用で構成されています。別紙を参照の上、研修申込時に海外旅行保険付保に対する同意の意思確認のためサイン済みの同意書を提出してください。

1.1. 個人情報の取扱いについて：

AOTS が取得する応募者の個人情報については以下のとおり取扱います。

- (1) 個人情報の管理者： 一般財団法人海外産業人材育成協会 総務企画部長
連絡先： 総務企画部 総務・人事グループ
電話：03-3888-8211 E-mail: kojinjoho-cj@aots.jp

(2) 利用目的

ご提供いただいた個人情報は、参加者受入及び研修実施に関する事務手続きのために利用します。
それ以外の利用目的または法令に基づく要請の範囲を超えた利用はいたしません。
尚 AOTS の個人情報保護方針は、<https://www.aots.jp/privacy-policy/> をご覧ください。

1.2. お問い合わせ：

一般財団法人 海外産業人材育成協会

日本国内の法人を通じてのお申込の場合

企業連携部 研修・派遣業務グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8221

Fax：03-3888-8428

E-mail: kigyo-inquiry-az@aots.jp

海外の法人から直接のお申込の場合

海外統括部 海外協力第1グループ

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1丁目30-1

電話：03-3888-8256

Fax: 03-3888-8242

E-mail: shouhei-au@aots.jp

PRE-TRAINING REPORT**- The Program on New Business Creation for South Asia [SABC]-****[SABC]**

Please fill in the following items **by using a personal computer or similar equipment** in English.

Handwriting should be avoided.

This document will be used as a reference material in 1) the screening process of applicants and 2) the group discussion and the presentation to be held during the program by sharing with lecturers and other participants.

Therefore, the **applicant is requested to fill in all of the items clearly and concretely.**

***AOTS will not use this information for any other purposes other than an AOTS training program.**

1. Your name	
2. Your country	
3. Name of your company/ organization	
4. Outline of your organization (Business outline, product lines/service, and size of business of your company) * Preferably attach an organization brochure	
5. Your position and department (preferably attach an organizational chart, indicating your position)	
6. Your duties in detail	

<p>7. What do you think is/are the key success factor(s) in creating a “new business”? Please justify your response.</p>	
<p>8. What do you think is/are the most challenging aspect(s) of creating a “new business”? In a hypothetical situation where you are the business creator, how would you overcome them?</p>	
<p>9. Have you tried creating a “new business”? If yes, please elaborate on your experiences and lessons learned. If no, please explain what prohibited you from doing so?</p>	
<p>10. Does your role/ position in your organization require you to create new business? If yes, please elaborate on your experiences. If no, please write what motivated you to apply to this program.</p>	
<p>11. What is/are your expectation(s) for the program?</p>	